

---

silbraver ~ 白銀の勇者 ~

06

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

silverbraver（白銀の勇者）

### 【Nコード】

N3184Z

### 【作者名】

06

### 【あらすじ】

ハンゲームというゲームサイトにある、「チョコットランド」というオンラインゲームの二次創作です。

名前や大まかな容姿等、キャラクター設定は僕が使っているキャラクターのものに合わせています。

続く保障はありませんが、ゲーム内で成長する度に、更新したいと思えます。

## 一話 旅立ち

朝日が照らし始めた街の一角、一軒の店の前で、少年と少女が言葉交わしていた。

まだ朝も早いこともあり、人通りは少なかったが、それでもその少女と少年は人々の目を引いた。

少女の方は言わずと知れたこの店の売り子で、気さくな性格で街の冒険者から絶大な人気を得ている。チャームポイントは三つ編みだ。

しかし、そんな少女よりも、更に目を引くのが、少女と親しげに話している、少年だ。

確かに、まだあどけなさが残る顔立ちは、格好次第では女にも見えるかもしれない。しかし、それより、先ず目に付くのが、彼の髪だ。光の加減によつては銀色にも輝くその白い髪の毛は、他のどんな色も含んでいない。朝日に輝くその様は、まるで天使が舞い降りたかのようなだった。

「……それじゃ、行ってくる」

買ったばかりの小型ナイフを、大事そうにベルトに挟んだ少年が、少女に向けて微笑みながらそう言った。

「うん……。頑張ってるね」

少年の瞳に、しっかりとした決意の色を見た少女は、期待と心配とが織り混ざったような複雑な表情で、頷いた。

と、その時、少し遠くの方から、恐らく少年を呼んでいるのである声が届いた。

「セーイレーンナー！ はーやーくー！ 置いてっちやうよー!?」

零翠と呼ばれた少年は、慌てて声のした方を振り向いた。すると、緩やかな坂の先に、少年と同じ白銀の髪を、腰まで伸ばした少女が、腰に手を当てて此方を睨んでいた。白い肌や整った顔立ちから、その容姿は、美少女と言っても良いだろう。

目の形や雰囲気少年に良く似ている。恐らく兄妹か何かなのだろう。

その姿を確認した少年は、もう一度最初の少女に視線を戻した。

「ごめん。もう行くね！」

そう言われた少女は、一瞬、寂しそうな表情になったが、直ぐに笑顔を見せた。

「うん。行ってらっしゃい！ 気を付けてね！」

少女は精一杯の笑みを、惜しみ無く少年に向けて放った。

そして、その笑顔をしっかりと胸に刻み込んだ少年は、少女に背を向けて、走り出した。

「ありがとう！ 行ってきます！」

走りながらも振り返って手を降る少年の目は、これから旅立つ、未知の世界への希望と、焦燥にも似た期待に色めき、輝いていた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3184z/>

---

silbraver ~ 白銀の勇者 ~

2011年12月11日07時56分発行